

鶴川河口干潟で鶴川高校のカリキュラム「むかわ学」をサポートしました！

治水課、苫小牧河川事務所

鶴川高校は、地域の自然環境や歴史を学び、地域の課題の発見や解決能力を身につけることなどを目的として、平成29年度から学校設定科目として新たに「むかわ学」を導入しています。その一つである「むかわの自然」では、河口干潟の保全・再生に関する様々な活動を実施している「ネイチャー研究会in むかわ」が、鶴川河口干潟をテーマに、講義や地域巡検に参加しています。

令和2年7月9日（木）、6月19日（金）の講義に引き続いて巡検（フィールドワーク）が行われ、室蘭開発建設部では、鶴川の概要や洪水、干潟河口などの話のほか、河川協力団体「ネイチャー研究会in むかわ」とともに、渡り鳥の餌となる干潟にすむゴカイ調査や水質調査をサポートしてきました。当日は晴天に恵まれフィールドワークに絶好の天候となりました。鶴川高校1年生46人は、人工干潟で泥まみれになりながらゴカイを探したり、水質パックテストで鶴川と干潟内の水質の違いなどを調べたほか、渡り鳥の観察など干潟の重要性について学ぶことができました。

今後は巡検で得た知識や体験などを基に、学期末の発表会（プレゼンテーション）に向けて学びを深めていくとのことです。

室蘭開発建設部は、地域の未来を担う子供たちに向けて、地域の財産である自然豊かな鶴川を通して自然や川を守る活動の大切さなどを伝え理解を深めてもらうことで、地域づくりの人材育成につながるよう取り組んでいます。

実施位置（鶴川河口）



ゴカイ調査

水質調査



「野鳥の話」



「ゴカイの話」



どの色が近いかな？

溶存酸素量(DO)確認中



泥にはまって足が動かない...



見えました！

透視度を確認中



ゴカイいる？

「鶴川の話」